

	<p>はじめに</p> <p>幼児期の「やりたい気持ち」</p> <p>「できたよ!」と言っている子どもの顔を思い浮かべてみてください。</p> <p>なないろの家は、ワクワク楽しい学びの場でありたい。</p> <p>子どもの「やりたい気持ち」を大切に、 自分で選び、考え、行動できる力を目指しています。</p> <p>視覚的支援を取り入れ、わかる楽しさ、できる喜びを感じながら、 成長の一步一步を支えます。</p> <p>なないろの家では、未来の「自分らしい自分」を目指して、 子どもたちの可能性を広げるお手伝いをしています。</p>
<p>法人理念</p>	<p>「できる」から「わかる」へ</p> <p>好きな事、得意な事があると、他のことも頑張れる!“なないろ”はそれを見つけるお手伝いの場所です</p> <p>子どもたちはいずれ大人になります。その未来に自分らしく生きていけるように、なないろの家では3つの柱を大切に支援を行います</p> <p><b>【3つの柱】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる、わかるを増やす</li> <li>・自分でえらぶ</li> <li>・自ら発信する</li> </ul> <p>この3つの柱の支援を行う為に、なないろの家では<b>視覚的支援</b>に力を入れています</p>
<p>支援方針</p>	<p>安全・安心を心掛け、子ども達の個性や能力を引き出していく環境づくりを目指します</p> <p>自分自身が主人公の人生を歩んでいくための支援を行います</p> <p>生活の質の向上を目指し、標準化された検査の結果も取り入れたアセスメントを行い、個別支援計画を作成します。</p> <p>また、専門職による支援も行います</p> <p>質の高い支援を目指し、専門性の高い人材の確保と研修に取り組みます</p> <p>障害児が日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適應することができるよう、障害児等の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援及を行います</p> <p>地域との結び付きを重視し、利用者の所在する市町村、他の指定障害児通所支援事業者、指定障害児相談支援事業者、指定特定相談支援事業者、指定障害児入所施設その他福祉サービス又は保健医療サービスを提供する者（以下「障害児通所支援事業者等」という。）との密接な連携に努めます</p> <p>意思及び人格を尊重し、常に障害児の立場に立ったサービスを提供します</p> <p>その提供するサービスの質の評価を行い、常にその改善を図ります</p>
<p>営業時間 サービス提供時間</p>	<p>☆営業日 月曜日から金曜日、日曜日（ただし日曜休業した場合は土曜日開所） （8月13日から8月15日まで、12月30日から1月3日までを除く。）</p> <p>☆営業時間 平日 午前10時30分から午後6時30分まで 学校教育法施行規則に規定する休業日 午前9時から午後5時まで</p> <p>☆サービス提供日 学校教育法施行規則に規定する休業日 （8月13日から8月15日と12月29日から1月3日までを除く）</p> <p>☆サービス提供時間 児童発達支援 午前10時から午後4時まで</p>
<p>送迎実施の有無</p>	<p>基本保護者様での送迎をお願いしています。（事情がある時は相談）</p>

プログラム	支援内容 (5領域)
個別療育	個々に集中して行いたい困り感に対して個別に療育を行います。 例 文字、聴理解等 (健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性)
ことばの教室	言語検査実施。その結果に基づき言葉に特化しながらも、普段の困り感にアプローチしていきます ( 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性)
おやつ作り	五感を刺激 切る音、つぶす感触、出来上がっていくにおい、ものの形や色が変わったり、五感の刺激になります  ルールを守る 手を洗う、マスク・エプロン・三角巾をつける・危なくないようにまな板はここに置く、などお料理を通してルールを守る力を育みます  数や文字にふれる 例えば、ジャガイモの数を指差ししながら数え、文字に興味が出てきたらレシピを使い読み書きへとつなげていきます。 体で記憶し、数や文字の発展につながります。  次は何をしたらいいかな？ →自発的に行動できる  どうしたらいいかな？ →自分で解決できる  自分の分は自分で作るよ！ →最後までやりきる  うまくいなくても大丈夫！ →成功体験を積み重ねる (健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性)
おやつ	姿勢にも注意しながら、好きなおやつを選びます。楽しい時間です。 (健康・生活 認知・行動 )
買い物学習	おやつ選びの時に模擬紙幣を使い、駄菓子屋感覚でおやつを買ってもらいます。 (健康・生活 認知・行動 人間関係・社会性)
課外活動	工場見学や近隣の施設に見学に行きます(例 消防署など)。近隣の施設は、地域との触れ合いにもなります。また、集団行動の支援を行います ( 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性)
運動	粗大運動(例えばサーキット遊び)を通して、大きく体を動かしたりバランス感覚を養います。また順番を守ったり友達の協調性も育んでいきます 微細運動では、例えば指先を使った取り組みも行っていきます。 (運動・感覚 人間関係・社会性)
制作	季節の制作を中心に、幼児期に大切な「やってみよう」にも対応しています。また、ハサミやのり、セロテープなどの道具にも触れ、5感を刺激していきます。 できた作品を使って遊ぶことで、自信にもつなげていきます。 (運動・感覚 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性)
家族支援	・事業所やご家庭、園等での様子について情報を共有します。 ・半年に一回の定期的な面談に加え、必要に応じて随時相談の時間を取り、子育てに関する困り事、障害特性や環境調整の理解に向けてなどの相談援助を行いご家庭をサポートします。又、ペアレントトレーニングを実施したり、保護者交流の機会を提供していきます。 ・現在及び将来的な進路の選択についての相談援助や必要な情報提供を行います。
移行支援	・現在及び将来的な進路の選択についての相談援助や必要な情報提供を行います
地域支援・地域連携	・地域の施設などを利用する機会を作ります。又、地域活動の情報提供を行うなど生活の中で地域との関わりが持てる環境作りをサポートします。
職員の質の向上	資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、福祉・介護職員の能力評価を行う 常勤ミーティング 毎朝開催 平日10:30～ 休日9:00～ スタッフ研修 年1回以上(原則専門職が行う) OJT 専門家が実施する療育の記録を取ることで、自身の療育や接し方を学んでいく。実践の中で専門職がスキルや知識を伝えていく 資格の取得 保育士、強度行動障害支援者研修等資格取得の助成
主な行事等	お正月の遊び、節分、お祭り、春の制作、七夕、課外活動、水遊び、ハロウィンまつり、クリスマス会など

	<p>はじめに</p> <p>お子様にどのような人生を歩んでもらいたいですか？</p> <p>なないろの家では、<b>自分が主人公の人生</b>を歩んで欲しいと願っています。 そのために、視覚的支援に力を入れています。 絵カードはもちろんの事、スケジュールの作成や、メモに書いて子ども達に伝えてたりしています。 視覚的支援は、周囲の大人が子どもを意のままに行動してもらう為に使用するのではなく、 子ども自身が、わかって行動できるようになったり、自身で選び決めていくことで、 自分が主人公の人生を歩んでいけるために使用しています。 なないろでは間違った視覚的支援を行わないよう、研修にも力を入れています。</p>
<p>法人理念</p>	<p>「できる」から「わかる」へ 好きな事、得意な事があると、他のことも頑張れる！"なないろ"はそれを見つけるお手伝いの場所です 子どもたちはいずれ大人になります。その未来に自分らしく生きていけるように、なないろの家では3つの柱を大切に支援を行います</p> <p><b>【3つの柱】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる、わかるを増やす</li> <li>・自分でえらぶ</li> <li>・自ら発信する</li> </ul> <p>この3つの柱の支援を行う為に、なないろの家では<b>視覚的支援</b>に力を入れています</p>
<p>支援方針</p>	<p>安全・安心を心掛け、子ども達の個性や能力を引き出していく環境づくりを目指します 自分自身が主人公の人生を歩んでいくための支援を行います 生活の質の向上を目指し、標準化された検査の結果も取り入れたアセスメントを行い、個別支援計画を作成します。 また、専門職による支援も行います 質の高い支援を目指し、専門性の高い人材の確保と研修に取り組みます 障害児が日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適應することができるよう、障害児等の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援及を行います 地域との結び付きを重視し、利用者の所在する市町村、他の指定障害児通所支援事業者、指定障害児相談支援事業者、指定特定相談支援事業者、指定障害児入所施設その他福祉サービス又は保健医療サービスを提供する者（以下「障害児通所支援事業者等」という。）との密接な連携に努めます 意思及び人格を尊重し、常に障害児の立場に立ったサービスを提供します その提供するサービスの質の評価を行い、常にその改善を図ります</p>
<p>営業時間 サービス提供時間</p>	<p>☆営業日 月曜日から金曜日、日曜日（ただし日曜休業した場合は土曜日開所） （8月13日から8月15日まで、12月30日から1月3日までを除く。） ☆営業時間 平日 午前10時30分から午後6時30分まで 学校教育法施行規則に規定する休業日 午前9時から午後5時まで ☆サービス提供日 月曜日から金曜日、日曜日（ただし日曜休業した場合は土曜日開所）（8月13日から8月15日と12月29日から1月3日までを除く。） ☆サービス提供時間 放課後等デイサービス 平日 午後2時30分から午後5時30分まで 学校教育法施行規則に規定する休業日 午前10時から午後4時まで</p>
<p>送迎実施の有無</p>	<p>有り</p>

プログラム	支援内容 (5領域)
個別療育	個々に集中して行いたい困り感に対して個別に療育を行います。 例 洗濯物干し・ (健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性)
ことばの教室	言語検査実施。その結果に基づき言葉に特化しながらも、普段の困り感にアプローチしていきます (健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性)
お料理教室	買い物から調理器具の準備まで行います。家庭料理に近いメニューで楽しく調理していきます。お料理は五感を刺激し、また、 国語算数、協調性や社会性と幅が広い療育です。 (健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性)
おやつ・食事	模擬紙幣を使い、駄菓子屋感覚でおやつを買ってもらいます。慣れてくると、暗算で計算できる子もいます (健康・生活 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性)
買い物学習	選んで買ってもらうことはもちろん、店員さんに聞く練習、レジを通してお金のやり取り、袋詰めと、すべての工程を楽しんで行います (健康・生活 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性)
課外活動	色々な経験ができるよう、様々な場所へ行きます。例えば、工場見学、運動施設、公園、遊園地、動物園など。地域の公園は、地域の子どもたちとの触れ合いにもなります。また、集団行動や全体説明が聞けるように支援を行います (健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性)
運動	外遊びでは、ルールも子どもたちに話し合って決めてもらいます。相手の意見を聞いたり自分の主張をしたりと、体を動かすだけではなく社会性やコミュニケーションも育みます。 粗大運動 (例えば サーキット遊び) では、大きく体を動かしたりバランス感覚を養います。また順番を守ったり友達との協調性も育んでいきます 微細運動では、制作で指先を使います。また各個人にあった個別の課題を設定し、特に高等部のお子様は、卒業後の作業を見越して作業を行います。社会に出たときのマナーの支援も行っています。 (健康・生活 認知・行動 運動・感覚 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性)
公園	遠足に大きな公園にいたり、地域の公園にも行きます。集団行動支援、大きく体を使った遊びも行います。 (健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性)
制作	季節の制作を中心に、子どもたちからの「作ってみたい」にも対応しています。また、ハサミやカッター、クルーガンなどの道具にも触れ、使えるように支援していきます。 できた作品は飾った後に、自宅へ持ち帰ります。(運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション)
家族支援	・事業所やご家庭、学校等での様子について情報を共有します。 ・半年に一回の定期的な面談に加え、必要に応じて随時相談の時間を取り、子育てに関する困り事、障害特性や環境調整の理解に向けてなどの相談援助を行いご家庭をサポートします。又、ペアレントトレーニングを実施したり、保護者交流の機会を提供していきます。 ・現在及び将来的な進路の選択についての相談援助や必要な情報提供を行います。
移行支援	・現在及び将来的な進路の選択についての相談援助や必要な情報提供を行います
地域支援・地域連携	・地域の施設や公園などを利用する機会を作ります。又、地域活動の情報提供を行うなど生活の中で地域との関わりが持てる環境作りをサポートします。
職員の質の向上	資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、福祉・介護職員の能力評価を行う 常勤ミーティング 毎朝開催 平日10:30～ 休日9:00～ スタッフ研修 年1回以上 (原則専門職が行う) OJT 専門家が実施する療育の記録を取ることで、自身の療育や接し方を学んでいく。実践の中で専門職がスキルや知識を伝えていく 資格の取得 保育士、強度行動障害支援者研修等資格取得の助成
主な行事等	初詣、もちつき、節分、やきいも、お祭り、BBQ、お花見、母の日、梅雨の壁面制作、七夕、流しそうめん、水遊び、敬老の日制作、ハロウィンまつり、クリスマス会、トランポリン等